

施策1

広域的な交流・連携基盤の強化

目指す姿

●人やモノが集まり、国内外との交流が盛んに行われています。

ひろしま未来チャレンジビジョン (P80) より

道路の役割

●産業集積地や空港・港湾等へのアクセス性を向上し、産業活動や地域間交流を支えます。

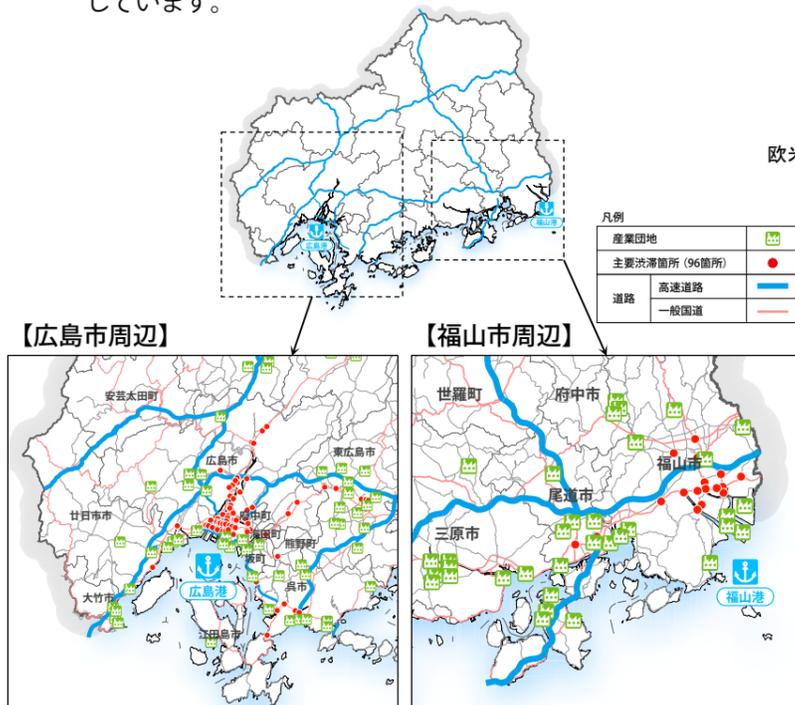
現状と課題

- 県境を越える井桁状高速道路ネットワークの形成により、地域間の移動時間が大幅に短縮しています。
- 広島空港へのアクセスは高速道路の交通渋滞や通行止めの影響を受けやすい状況にあります。
- 本県企業の競争力を向上させるためには、都市部の渋滞を緩和し、広島港・福山港の物流拠点機能の強化を図る必要があります。

県内の渋滞発生状況

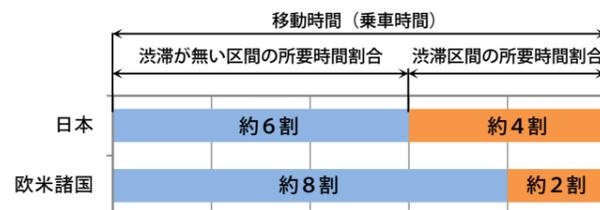
●県内96箇所の主要渋滞箇所

広島市・福山市やその周辺において多くの渋滞が発生しています。

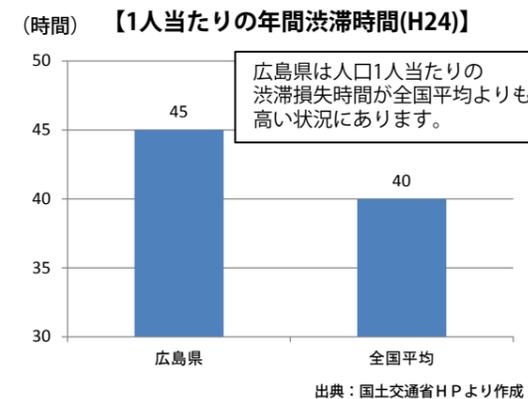


●渋滞損失時間

日本の渋滞損失時間の割合は欧米の先進国の約2倍です。



日本における1人当たりの年間平均乗車時間は約100時間で、そのうち、約40時間を渋滞で損失しています

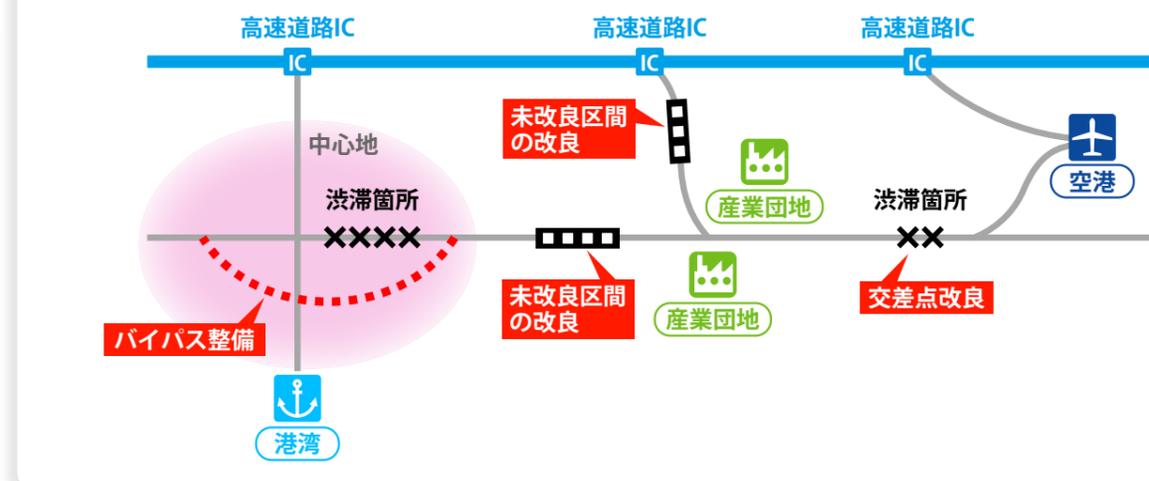


取組の方向

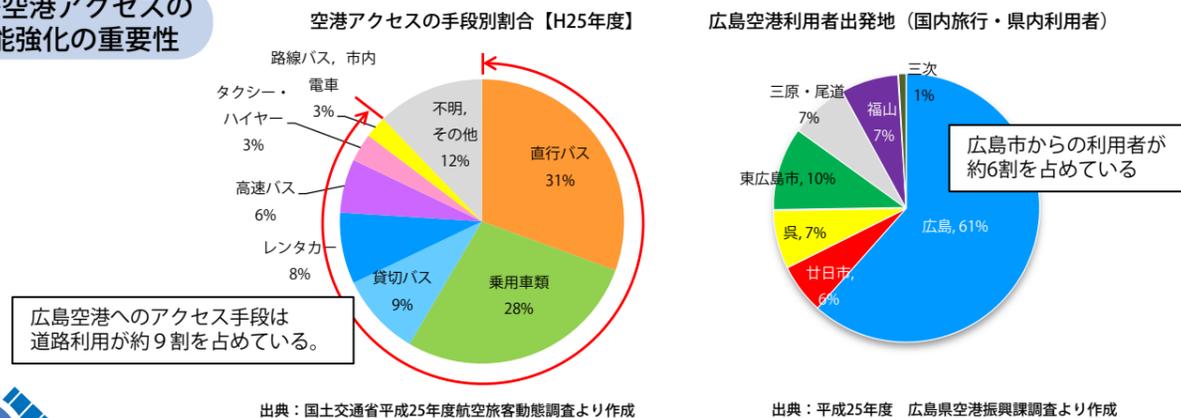
新たな経済成長

- 企業活動を支える物流基盤の整備
⇒都市部の渋滞を解消し産業集積地をつなぐ広域交通ネットワークを強化します。
- グローバルゲートウェイ機能の強化
⇒広島空港, 広島港, 福山港への速達性・定時性の確保と代替性・多重性を強化します。

整備イメージ図



広島空港アクセスの機能強化の重要性



指標

指標名	現状	目標
1人当たりの年間渋滞損失時間 (H24)	45 時間	(H32) 40 時間
広島空港利用者数 (※1) (H26)	271.9 万人	(H30) 303.1 万人

全国平均よりも高い渋滞損失時間の減少に努めます。(1年間に約45時間を渋滞で損失しています。)

県内の就業者がこの時間短縮効果を受ければ、1年間で県全体で約116億円に該当します。
就業者数134万人×平均時給1,735円×短縮時間5時間=約116億円/年
※就業者数は、総務省統計局「国勢調査」、平均時給は厚生労働省「平成25年賃金構造基本統計調査」による

広島空港への多様なアクセスルートの確保により空港利用者の利便性向上に努めます。

※1 ひろしま未来チャレンジビジョンより

用語説明

井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道, 山陽自動車道を横軸に, 広島自動車道, 浜田自動車道, 東広島・呉自動車道, 中国横断自動車道尾道松江線, 西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。

主要渋滞箇所…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。平成24年に県内で96箇所が選定されている。

渋滞損失時間…渋滞によって遅れた時間。ある区間を自動車で行く際に要する基準的な旅行時間(基準旅行時間)から実際の旅行時間を引いた時間(遅れ時間)。

産業集積地…産業に関わる企業群が地理的に集積して、一つの産業構造を形成している地域。

グローバルゲートウェイ…世界各国と多方面, 多頻度の航空路線・航路で結ばれた国際的な規模と機能を有した競争力の高い拠点となる空港・港湾。